

特別企画目次

基調講演

第1日目 (10月21日(土)) 第7会場

<14:30~15:30> 2023年、臨床検査技師の将来を考える

司会：田中 規仁 (労働者健康安全機構 和歌山労災病院)

1. 2023年、臨床検査技師の将来を考える

代表理事会長 宮島 喜文 (一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会)

日臨技企画1

第1日目 (10月21日(土)) 第7会場

<13:30~14:30> 品質保証施設認証制度

司会：久保 光史 (社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院)

1. 日臨技 精度保証の方向性

専務理事 滝野 寿 (一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会)

日臨技企画2

第1日目 (10月21日(土)) 第7会場

<15:40~17:00> 学生フォーラム「臨床検査技師の未来像」

1. 臨床検査技師の未来

勝山 政彦 (一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会) ほか

特別企画

第2日目 (10月22日(日)) 第8会場

<10:00~11:00> 三団体合同企画 R-CPC

司会：中尾 光孝 (ひだか病院)

山崎 正晴 (奈良県立医科大学附属病院)

1. 三団体合同企画 RCPC

RCPC

教育講演 I

第1日目 (10月21日(土)) 第1会場

<13:40~14:40> 教育セッション I [微生物]

「抗菌薬適正使用支援チーム (AST) 活動に役立つ微生物検査」

司会：中村 竜也 (京都橘大学)

1. 理想のASTを目指して

小泉 祐介 (和歌山県立医科大学)

教育講演Ⅱ

第1日目（10月21日(土)）第2会場

<13:40~14:40> 教育セッションⅡ [生物化学] 「明日から使える自動分析装置の知識」

司会：松田 哲明（大津赤十字病院）
松村 充子（公益財団法人天理よろづ相談所医学研究所）

1. 日常業務で役立つ分析装置の基礎 生化学分析装置について
福井 直希（地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター）
2. 日常業務で役立つ分析装置の基礎 免疫血清分析装置について
岡崎 一幸（京都大学医学部附属病院）

教育講演Ⅲ

第1日目（10月21日(土)）第3会場

<13:40~14:40> 教育セッションⅢ [生理①] 「継承する心電図判読のコツ！」

司会：中島 辰也（社会福祉法人 恩賜財団 済生会滋賀県病院）

1. リズム異常 編
齊藤 直輝（市立豊中病院）
2. 冠動脈疾患 編
沼田 智志（大阪赤十字病院）

教育講演Ⅳ

第1日目（10月21日(土)）第4会場

<13:40~14:40> 教育セッションⅣ [一般] 「髄液検査の新たなカタチ」

司会：新井 未来（恩賜財団 済生会 滋賀県病院）
藤内 千歳（京都第二赤十字病院）

1. 髄液検査の意義とMultiplex PCRの有効性について
北川 大輔（地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター）
2. 髄膜炎診療における臨床検査の活用の実際
西原 悠二（奈良県立医科大学感染症センター）

教育講演Ⅴ

第2日目（10月22日(日)）第1会場

<13:10~14:10> 教育セッションⅤ 「WHO分類第5版改訂のポイント（骨髄系腫瘍）」

司会：梅村 茂人（滋賀県立総合病院）
水谷 陽介（日本赤十字社和歌山医療センター）

1. WHO分類第5版 AML, MPNのオーバービュー
永井 直治（公益財団法人 天理よろづ相談所病院）
2. WHO分類第5版 MDS、MDS/MPNのオーバービュー
吉川 慎一（市立吹田市民病院）

教育講演Ⅵ

第2日目 (10月22日(日)) 第2会場

<13:10~14:10> 教育セッションⅥ 「輸血用血液製剤の運用と安全性の両立及び遡及調査について」

司会：坊池 義浩 (神戸学院大学)

1. 輸血用血液製剤の安全性と遡及調査、実運用について

後藤 直子 (日本赤十字社血液事業本部)

教育講演Ⅶ

第2日目 (10月22日(日)) 第3会場

<13:10~14:10> 教育セッションⅦ 「継承する脳波検査の工夫」

司会：増田 信弥 (公益社団法人 京都保健会 京都民医連中央病院)

1. キレイな脳波を記録するポイント

中塚 賢一 (公立大学法人 和歌山県立医科大学附属病院)

2. 不安を解決！脳死判定を理解する

佐々木 一郎 (独立行政法人 神戸市民病院機構 神戸市立医療センター
中央市民病院)

教育講演Ⅷ

第2日目 (10月22日(日)) 第4会場

<13:10~14:10> 教育セッションⅧ 「膵液、胆汁細胞診 LBC標本の免疫染色実施時の工夫など」

司会：鍵弥 朋子 (関西医療大学)

1. 当センターにおける消化器領域細胞診の現状

棚田 諭 (地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター) ほか

シンポジウムⅠ

第1日目 (10月21日(土)) 第1会場

<14:50~16:50> 「微生物検査の現状と課題～検査の標準化を目指して～」

司会：口広 智一 (公立那賀病院)

山田 幸司 (京都府立医科大学附属病院)

1. 検査前プロセスと塗抹検査

中尾 歩美 (日本赤十字社和歌山医療センター)

2. 菌種同定～質量分析や遺伝子検査を含めて～

木下 愛 (滋賀医科大学医学部附属病院)

3. 薬剤感受性検査・耐性菌検査

寺前 正純 (兵庫県立がんセンター)

4. 血培対応・総合コメント

大瀧 博文 (関西医療大学)

シンポジウムⅡ

第1日目 (10月21日(土)) 第2会場

<14:50~16:50> 「生化学・免疫化学担当技師の立場から考える組織貢献」

司会：井尻 健太郎 (淀川キリスト教病院)
渡邊 勇気 (国立大学法人 神戸大学医学部附属病院)

1. 結果報告から考える臨床現場への貢献①
倉村 英二 (公益財団法人 天理よろづ相談所病院)
2. 結果報告から考える臨床現場への貢献②
堀端 伸行 (公立大学法人 和歌山県立医科大学附属病院)
3. チーム医療に貢献するための生化学・免疫化学担当技師の取り組み①
小泉 昌寛 (大阪医科薬科大学病院 中央検査部) ほか
4. チーム医療に貢献するための生化学・免疫化学担当技師の取り組み②
齊藤 健太 (公立甲賀病院)

シンポジウムⅢ

第1日目 (10月21日(土)) 第3会場

<14:50~16:50> 「見極めるコツ!! 見落とししやすい所見、間違いやすい所見」

司会：栗岡 利里子 (地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター)
野村 亜希 (福井大学医学部附属病院)

1. 心臓超音波 編
大前 嘉良 (紀南病院)
2. 腹部超音波 編
松崎 俊樹 (姫路赤十字病院 検査技術部 生体検査課)
3. 血管超音波 編
栗本 明典 (恩賜財団 済生会 滋賀県病院)
4. 甲状腺・乳腺 編
尾花 康子 (一般財団法人 京都工場保健会)

シンポジウムⅣ

第1日目 (10月21日(土)) 第4会場

<14:50~16:50> 「緊急検査・救急医療における尿検査」

司会：大沼 健一郎 (国立大学法人 神戸大学医学部附属病院)
武田 泉 (福井大学医学部附属病院)

1. 尿定性/尿沈渣検査のエマージェンシーとは
野崎 聖恵 (医療法人 寺西報恩会 長吉総合病院)
2. 日当直帯の尿検査に必要なこと (アンケート結果報告)
磯貝 好美 (公立大学法人 和歌山県立医科大学附属病院)
3. 尿化学検査
和田 哲 (公立大学法人 和歌山県立医科大学附属病院)

4. 救急現場と尿検査

是枝 大輔 (日本赤十字社和歌山医療センター)

シンポジウムV

第2日目 (10月22日(日)) 第1会場

<14:20~16:20> 「血液検査の付加価値を考える～臨床と連携できる検査技師を目指して～」

司会：小山 明日美 (紀南病院)
橋口 篤 (大津赤十字病院)

1. 血算・血液像の連携

神原 雅巳 (社会医療法人 中央会 尼崎中央病院)

2. 凝固検査における連携

黒瀬 知美 (福井大学医学部附属病院)

3. 骨髄検査における連携

田辺 祐也 (京都第二赤十字病院)

4. 血液内科医の視点から

蒸野 寿紀 (和歌山県立医科大学附属病院 血液内科)

シンポジウムVI

第2日目 (10月22日(日)) 第2会場

<14:20~16:20> 「臨床検査技師の輸血教育について」

司会：冨坂 竜矢 (公立大学法人 和歌山県立医科大学附属病院)
渡邊 純也 (福井赤十字病院)

1. 輸血非専任技師の輸血教育について

小川 久美子 (長浜赤十字病院)

2. 院内技能評価による時間外勤務スタッフ教育について

濱田 莉加 (府中病院)

3. 教育を通して考える輸血部専任技師に必要なこと・求められること

大前 和人 (奈良県立医科大学附属病院)

4. 輸血専任中堅技師以上の教育について

奥田 典子 (兵庫医科大学病院)

シンポジウムVII

第2日目 (10月22日(日)) 第3会場

<14:20~16:20> 「生理検査室の新しいカタチ」

司会：山崎 功次 (社会医療法人 ペガサス 馬場記念病院)
湯川 有加 (日本赤十字社和歌山医療センター)

1. 臨地実習のカタチ

桑野 和代 (公益財団法人 天理よろづ相談所病院)

2. 若手教育のカタチ

藤澤 義久（滋賀医科大学医学部附属病院）

3. 新型コロナウイルス感染症対策のカタチ

齋藤 清隆（福井大学医学部附属病院）

4. タスク・シフト/シェアにむけてのカタチ

山田 雅（地方独立行政法人京都市立病院機構 京都市立病院）

シンポジウムⅧ

第2日目（10月22日(日)）第4会場

<14:20～16:20> **「ISO15189 試薬や毒劇物の管理、医療安全、部屋の写真や工夫の紹介など」**

司会：岡山 はるみ（公立丹南病院）

奥村 寿崇（日本赤十字社和歌山医療センター）

1. 病理検査室の品質管理 ～ISO15189認定取得前と後～

松本 ひかり（彦根市立病院）

2. ISO15189認定取得後3年目の病理検査室における試薬、毒劇物の管理

小笠原 創也（京都第二赤十字病院）

3. 当院における化学物質の取り扱い

西川 武（奈良県立医科大学附属病院）ほか

4. 当社における試薬管理等の工夫

小林 真（兵庫県臨床検査研究所・HPL）